

ISSN 0911-9337

長崎大学附属図書館報

THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

和華蘭の窓

2023.4 No. 146



図書館を使い倒せ！ 2-5
学生おすすめ本／教員エッセイ「私と図書館」 6-7
昨年度の取り組み／information 8

図書館を使い倒せ!

フクロウ館長が伝授する

長大図書館 利用指南

大学図書館には皆さんの学びをサポートする機能が盛沢山。使わなきゃ損! フクロウ館長と一緒に、基本的な使い方をチェックしよう。

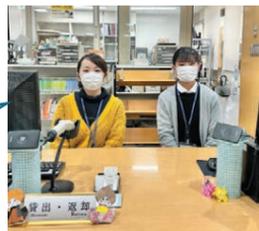
1 入館する



図書館に入るには学生証が必要です。ゲートのカードリーダーに学生証をタッチすると、ゲートが開きます。

学生証忘れちゃった…
そんな時はスタッフまで。

お気軽に
お声がけください。



3 本を借りる/返す



1F にセルフ貸出機があります。カウンターでも手続きができますので、借りたい本と学生証を持ってお越しください。CD等の付録付きの本はカウンターでの取り扱いです。

返却は玄関のブックポストかカウンターへ。

2 本をさがす



OPAC

図書館の蔵書は約 100 万冊! 館内には蔵書検索 OPAC 専用パソコンがあります。もちろんご自分のスマホやノートパソコンからも使えます。OPAC の URL をブックマークしておくとお便利です。(左の QR コードから OPAC を利用できます。)



館内全域で長大 Wi-Fi が使えるよ!



集中して課題に取り組める席が多数あり。お気に入りの席を見つけてね。



中央図書館



医学分館



経済学部分館



個人

学習スタイルで使い分けろ!



グループ

友だちと話しながら勉強できるエリア(ラーニングcommons)や、予約制のグループ学習室・セミナー室があります。

予約は MyLibrary の「施設予約」からどうぞ。



MyLibrary



中央図書館



医学分館



経済学部分館

オンライン授業は視聴参加のみなら、図書館内全域で OK です。発話を伴うオンライン授業は、右表のエリアのみになります。

中央図書館	1F, 2F 別館
医学分館	1F グループ学習室 1F ラーニングcommons
経済学部分館	1F ラーニングcommons



図書館を使い倒せ!

最高の大学生活のすごし方

これから大学生活が始まる新入生のあなたも。大学生活にはすっかり慣れたというあなたも。これから卒論に取り組むぞというあなたも。院に進学して生活が一変しそうなあなたも。図書館サービスを使い倒して、学生生活をより充実させましょう!

START!

今の自分に必要なものは?
 目の前のレポート課題を乗り切る
 将来に向けて自分磨き

レポート課題に必要な資料は?
 揃っている
 まだ手に入っていない

どんな方法で?
 就活や大学生活について、まずは先輩に話を聞いて自分なりに色々考えてみたい
 自己啓発本をたくさん読んでおきたい
 または学生の中に語学や資格取得を頑張りたい



今の自分が求めているのは?
 グループで課題に取り組むことができる環境
 ひとりで集中して作業できる静かな環境

資料集めを...
 誰かに助けてほしい
 自力で頑張りたい

アクティブラーニングスペースへGO!
 ラーニングcommonsやグループ学習室を活用して皆で課題を仕上げよう!

個室やサイレントスペースが◎
 例えば中央図書館には予約して使えるWeb個室が4部屋!

必要な資料はおそらく...
 紙で出版されていると思う
 電子化されていると思う



タイプ別 おすすめコース

Aコース 人的支援フル活用 コース

カウンターでは次のようなご相談をお待ちしています

大学院の先輩に直接相談できる
 ラーニングサポート サービスもあります
 (中央図書館1階ラーコモにて不定期開催)

- 資料の探し方がわからない
- 探している資料が見つからない
- 資料の入手方法がわからない
- どんな検索ツールがあるか知りたい
- 自分が見つけた以外にも必要な資料があるだろうか 等々



←ラーニングサポーターの三浦さん
 2023年度は3名が活動中!

図書館の利用ガイダンスも受講が可能です

進学や履修科目の選び方、レポートの書き方や課題についてなど、気軽に相談してください♪

Bコース 王道の図書検索～入手までコース

まずは蔵書検索ツール OPAC で欲しい資料を検索してみましょう

図書館にあった! →どの図書館にあるのかチェック!
 最寄りの図書館に取り寄せることもできます



<https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/>

図書館になかった... →購入リクエストや他大学の図書館等からの取り寄せができます
 図書の予約、貸出状況の確認、貸出期限の更新ができる Web サービス MyLibrary も活用しましょう♪

Cコース 学内でもお家でも電子資料使いまくりコース

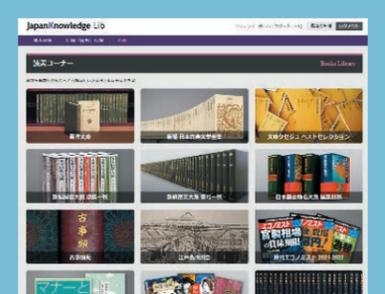
なんと! 図書館に來られない時でも様々な電子資料が利用できます
 自宅などの学外から利用する場合は長大ID・PWでログインしてください



電子ブック (画面は LibrariE)



電子ジャーナルリンク集



データベース (画面は JapanKnowledge)

学生おすすめ本

図書館で働いている学生の皆さんに
おすすめの本を教えてくださいました。



題名の意味や社会問題を
深く考えさせられます。

多文化社会学部・中尾さん
『52ヘルツのクジラたち』

一人の人間の生き様、企業としての
在り方も学べる本です。



経済学部・山下さん
『海賊とよばれた男』

岩野響さん、そしてご家族の方の
思いがとも伝わる一冊です。



教育学部・亀山さん
『15歳のコーヒー屋さん』

彼らにとって、城で過ごした時間とは…



経済学部・森さん
『かがみの孤城』

海外旅行欲を掻き立てて
くれる一冊です！



医学部・押川さん
『世界の美しい動物園と水族館』

毎日の些細なことが丁寧に
見えてくる様な一冊です。



多文化社会学部・奥田さん
『てんとろり』

僕の青春が詰まっています。



教育学部・松川さん
『いまさら翼といわれても』

この本を読んでぜひ長崎独特の感性や
魅力に触れてみてください！



工学部・松本さん
『のざわのりこの長崎日記』

様々なエネルギーの選択肢。



工学研究科・大山さん
『エネルギー400年史』

私と図書館

教員エッセイ

図書館は、不思議な場所。

附属図書館長 浜田久之

僕は、新入生となった春、友達とよく図書館の1階で待ち合わせをした。友達が来るまでの時間、ぼーっと本を眺めたり、雑誌をめくったり、居眠りしたりすることが好きだった。いつの間にか、「ごめん、待った？」と、僕の横に友が座っている。彼は「あのさ、聞いてよ〜」と、小声で話し出す。外には、新しく芽吹いた緑の葉が揺れて、友の弾む声と同期していた。僕たちは、話に飽きたら、2階へ上り、本を眺めたり、宿題に必要な本を探したりした。沢山の本に囲まれて、これから始まる僕たちの未来とどの本が関係するのだろうか、と思ったりした。

本には、過去のことが書いてあるが、僕たちは確実に未来を考えていて、本たちが、僕たちに何かしらのアドバイスをしてくれるものだと思っていた気がする。過去と未来の時空の狭間に、図書館があった。不思議の図書館へ、僕たちは今日も通っていた。

出会いは偶然に。

経済学部分館長 南森茂太

それは今からちょうど20年前、私が大学院生のときでした。研究の必要から図書館に足を運び、本をOPACで検索し、その配架場所へと向かう途中、なんとなく気になった本があったので、その本を手に取りました。目的の本とその本と一緒に借り、読み進めていったときでした。私はある人物と出会い、その魅力に一気に引き込まれました。その人物が、現在まで研究対象としている神田孝平です。

あのとき目的の本のもとに一直線に進んでいたら、私と神田孝平とは出会うことはなかったのかもしれない。

大学生活では多くの出会いがあります。その出会いは偶然によるものが多いと思います。また、運命の出会いには寄り道したときに生まれるのかもしれない。ふらっと図書館に立ち寄ってください。書架をぼーっと眺めてください。そんなときにあなたも運命の1冊と出会えるかもしれません。

書架の前に立つ

多文化社会学部 木村直樹

大学の図書館に初めて入って驚いたことは、お目当ての専門書を手にしようとした時だ。書架には、その分野の本が一緒に並んでいる。自分が思いもつかなかったタイトルの書籍が隣に当然と言わばかりに配架されている。とりあえず手に取ると、自分が知りたかったテーマは、こちらの方がよく書かれている。これで効率的に調べることができるはずだと自分で書物を検索システムから選んでも、先人たちの積み上げた巨大な知の集合体である図書館の書棚を前にすると、なんと狭い視野で見ているのかと思知らされた。

以来、図書館の書物は自分で足を運んで借りるようになった。大学院に進学し、院生や教員に許された広大な書庫に通うことができるようになると、江戸時代後半の書巻までもが読む者を待ち構えていて、すでに多くの人々が類似の課題に格闘してきたことが身に染みた。

本を手取る前に、その書棚をちょっと見てほしい。きっと新たな知の広がりがある。

出会いと学びのサード・プレイス

大学教育イノベーションセンター 辻 高明

大学には、多くの建物がある。教室のある講義棟、食堂や売店、イベントのための大ホール…。そんな中、図書館は静かな、でも存在感のある建物だった。図書館に通っていると、沢山の本人や人に出会えた。図書館は誰もが利用できる平等な場所であり、気軽に訪れやすい安心感のある空間だった。そして、出会った人や本から多くの学びのきっかけをもらった。通い続けていると、次第に図書館が自分を待っていてくれるような気持ちになった。

サード・プレイスという言葉がある。社会人にとって、家庭でも職場でもない第三の居心地の良い場所のことだ。スポーツジムやカフェがそれに当たる。自宅と大学の教室を行き来する大学生にとって、図書館は、構内とはいえ、ひとつのリラックスできるサード・プレイスだ。そして、そこには出会いと学びが溢れている。

昨年度の取り組み

Library Lovers' NAGASAKI 2022

『Library Lovers' Nagasaki』とは、長崎県内の国公私立大学・高専図書館が毎年秋に合同で開催しているキャンペーンです。

2022年も引き続き、学生の皆さんが「もっと図書館が好きになる！」ようなイベントを各大学で開催しました。

長崎大学では、附属図書館全館で、クイズラリーや箔押しワークショップ、選書祭りなど様々なイベントを実施しました。



▲箔押しワークショップ



▲2022年限定グッズ・ブック型付箋

長崎大学でのイベントの様子はこちらから↓↓

[https://nulib.hatenablog.jp/archive/category/Library Lovers' Nagasaki](https://nulib.hatenablog.jp/archive/category/LibraryLovers%20Nagasaki)

経済学部分館改修1周年記念イベント

経済学部分館では昨年、リニューアルオープン後1周年を記念して下記のイベントを行いました。

長崎の版画	江戸時代の長崎版画や地元の版画家 田川憲、山下南風の版画を展示
私の推し本見て、借り展	経済学部の学生の皆さんの推し本を図書館1階で展示
経済分館クイズ	経済学部分館についてのクイズで、回答してくれた人には参加賞などをプレゼント
総選挙！私の好きな座席	経済学部分館にある18種類の座席の人気投票を実施

また、一昨年6月にリニューアルオープンしてからの1年間に、入館回数が多い学生には『ベストリピーター賞』が授与され、7月7日には、リニューアルオープン後の入館者数が3万人を達成しました。



▲ベストリピーター賞表彰式



▲入館者3万人記念セレモニー

information

ギャラリー展示団体の募集

長崎大学所属の方は、展示スペースとしてギャラリーを使用することができます。

サークルの作品展やゼミ発表の場として、活用してみませんか？

お申し込みは中央図書館カウンターまで。

<https://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/facility/gallery>



▲展示の様子(左/古写真、右/ビブリオポスターバトル)

ホームページリニューアル



附属図書館ホームページをリニューアルしました。

レスポンス対応となり、PCでもスマートフォンでも見やすくなりました。

新URL (<https://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>)



和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 第146号 2023年4月1日発行

編集・発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2200 Mail: libnews@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <https://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

